



那須塩原市にあるもう一つの博物館

田園空間博物館だより なすの大地

第33号

2019年3月発行

◎当誌は「那須野が原西部田園空間博物館運営協議会」の広報誌です。当運営協議会は「那須野が原西部田園空間博物館」の管理、運営を行っています。

「那須野が原西部田園空間博物館」とは

那須野が原西部地区（西那須野地区、塩原の横林・^{にわとこ}接骨木地区）の豊かな自然や疏水・開拓にまつわる史跡などを田園空間に広がる展示物（サテライト）に見たてて、『屋根のない博物館』として地域全体をとらえ、その地域に暮らす方々が中心となって保全・活用・復元し、地域の活性化を目指すもので、県内では唯一の博物館です。

総合案内所が、那須野が原博物館に併設されており、パンフレット、大型パネル等により当博物館の案内をしています。

1 サテライトについて

サテライトは地域ごとにフットパス（巡回ルート）で結ばれ、ルートを巡って、散策を楽しむことができます。数あるサテライトからいくつか紹介させていただきたいと思います。

① ^{からすがもりじんじゃ}烏森神社



平安時代の902年に烏ヶ森稲荷神社として建立されたと伝えられています。1885年（明治18年）に那須疏水開削の起工式が行われました。1888年（明治21年）には、印南丈作、矢板武が開拓の氏神として社殿を再建しました。（西地区・三区町）

② ^{のぎ じんじゃ じゅりん}乃木神社の樹林



乃木神社社殿の裏側にあり、この地域の自然林の特徴が見られることから、市の天然記念物にも指定されています。乃木大將は、木を伐採することを好まなかったことから、往時と同じ自然のままの姿を残しています。（大山地区・石林）

③ ^{たてどう}縦道



1875年（明治8年）に行われた関東地方の測量「関八州第三角測量」の2地点を結ぶ直線（基線）が元になっています。那須開墾社が農場の中央部を縦貫するこの基線を開拓道路として利用しました。（南地区）

④ ^{にしなすのえき}西那須野駅



1886年（明治19年）に東北本線が西那須野まで開通し、那須駅（那須停車場）として開業しました。その後、西へ塩原軌道、東へ東野鉄道が開通し、輸送の中心的な役割を果たしました。現在の駅舎は1980年（昭和55年）に新築された3代目です。（中央地区・永田町）

なお、サテライトの詳しい場所については、地域ごとのフットパス（巡回ルート）を示したサテライト地域マップ（下図①）またはサテライトガイドブック（下図②）をご覧ください。それぞれ下記の公民館で配布しております。ぜひマップを片手にサテライトを訪れてみてはいかがでしょうか！

- ・サテライト地域マップは地域別に7種類あり、下記公民館でそれぞれ管内のマップを配布しています。
- ・サテライトガイドマップについては、下記公民館および市役所各庁舎で配布しています。

配布場所

総合案内所、西公民館、狩野公民館、三島公民館、西那須野公民館、大山公民館、南公民館、
運営協議会事務局 ※横林・接骨木地区のマップは西那須野支所産業観光建設課（運営協議会事務局）にて配布

①サテライト地域マップ



(例) 南地区



②サテライトガイドブック



○「那須野が原西部田園空間博物館総合案内所」をリニューアルします

那須野が原博物館を「日本遺産」の情報発信の拠点として整備することに伴い、総合案内所を改修します。

田園空間博物館のサテライトについては日本遺産と重複する文化財が含まれており、今後は日本遺産と連携をしていきたいと考えています。

しばらく使用できませんが、3月末に完成予定ですので、リニューアルした総合案内所をぜひご覧ください。



現在の案内所

2 「那須野が原西部田園空間博物館運営協議会」について

西那須野地区の6つのコミュニティ（西、狩野、三島、中央、大山、南）と塩原の横林・接骨木地区（^{にわとこ}横接地区コミュニティ）と関係団体を主なメンバーとし、那須野が原西部田園空間博物館の管理・運営や様々な普及活動を行っています。

3 平成30年度の主な協議会の活動

- ・那須野が原公園サンサタワーにて、サテライト写真展開催（4月27日～5月31日）
- ・那須野が原公園緑の相談所展示ホールにて、サテライト写真展開催（8月8日～15日）
- ・広報「なすの大地」第32号発行（8月20日）
- ・県庁展示ギャラリーにて、サテライト写真展開催（9月1日～7日）
- ・サテライト見学会開催（9月29日）
- ・西那須野産業文化祭にて、小学生サテライト絵画展開催（10月13日～14日）
- ・那須野が原博物館博物館フェスタにて、活動写真等展示（10月16日～11月11日）
- ・なすしおばらまなび博覧会にて、小学生サテライト絵画展開催（11月10日～11日）
- ・第15回那須野が原ウォーク開催（11月18日）
- ・那須野が原博物館エントランスホールにて、小学生サテライト絵画展開催（1月11日～20日）
- ・那須野が原公園緑の相談所展示ホールにて、小学生サテライト絵画展開催（1月23日～1月29日）
- ・広報「なすの大地」第33号発行（3月20日）

4 サテライト見学会

平成30年度の「サテライト見学会」を9月29日（土）に35名の参加者により下記のルートで開催しました。

「あいづなかかいどういちりづか会津中街道一里塚」⇒「なすすいさびがわ那須疏水蛇尾川サイフォン出口」⇒「さびがわ蛇尾川ダム」⇒「なすすいたんぼう こみち那須疏水探訪の小径」⇒「あかだ赤田調整池」⇒「総合案内所」⇒「なすすい那須疏水水車」⇒「さいごう西郷神社」⇒「おおやま大山別邸」⇒「つむがわ津室川湧水地」

蛇尾川ダムは、東京電力ホールディングス株式会社リニューアブルパワー・カンパニーの方にご協力をいただき見学しました。また、赤田調整池は、那須野ヶ原土地改良区連合の方にご協力いただきました。各サテライトでは各地区コミュニティの方に解説いただきました。

途中で雨が降ってしまいましたが、予定通りの見学ができました。



那須疏水蛇尾川サイフォン出口



西郷神社



大山別邸



津室川湧水地

5 第15回那須野が原ウォーク

平成30年度の「那須野が原ウォーク」が11月18日（日）に行われました。107名の参加者が3班に別れて散策しました。

那須野が原ウォークは、那須野が原公園や千本松牧場周辺のサテライトを徒歩で巡る催しで、毎年秋に開催しています。当日は秋晴れでウォーキングに最適の陽気でした。

今年のコースは、「那須野が原公園」⇒「昭と天皇のお手植松」⇒「まつかた松方別邸」⇒「せんぼんまつ千本松牧場放牧場」⇒「千本松牧場レストハウス」⇒「なすすい那須疏水第三分水工」⇒「なすすいたんぼう こみち那須疏水探訪の小径」⇒「那須野ヶ原用水ウォーターパーク」⇒「那須野ヶ原総合開発水管理センター」⇒「あかだ赤田調整池」⇒「那須野が原公園サンサタワー」の順で歩きました。

松方別邸では、当協議会の会員により解説を行いました。その他の施設では、那須野ヶ原土地改良区連合の方、東京電力ホールディングス株式会社リニューアブルパワー・カンパニーの方から解説を受けました。

また、ゴール後には抽選会を行い参加者全員に賞品が渡されました。



開会式



松方別邸



千本松牧場紅葉林



那須野ヶ原用水ウォーターパーク



那須野ヶ原用水ウォーターパーク



赤田調整池

6 第9回小学生サテライト絵画展

①優秀作品の紹介

那須野が原西部田園空間博物館の対象エリアになっている西那須野地区の小学校6校と横林小学校の高学年の児童を対象にサテライト絵画の募集を行い、全175点(東12点、槻沢81点、南47点、西9点、三島17点、大山3点、横林6点)の応募作品の中から、**優秀作品15点**(最優秀賞1点・優秀賞14点)が決定しました。

4会場で絵画展を開催し、対象エリア内のコミュニティにおいても、公民館等で絵画が展示されました。

最優秀賞



「長延寺」

南小学校6年 畠山 海音さん

優秀賞

●南小学校(南地区)



「長延寺」
6年 内野 咲彩さん



「長延寺」
6年 豊住 理桜子さん



「ホタルの里」
6年 佐々木 愛さん

●東小学校(中央地区)



「支所庁舎時計塔」
6年 阿部 匠真さん

●槻沢小学校(狩野地区)



「槻沢遺跡」
6年 秋元 優生さん



「西漕沢の出釜湧水地」
6年 加藤 悠希さん

●槻沢小学校(狩野地区)

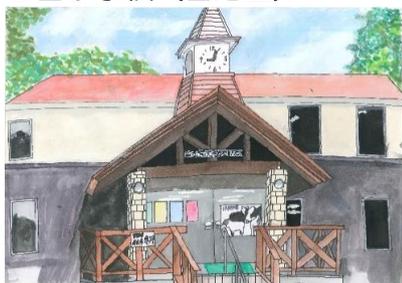


「椿稲荷」
6年 鈴木 彩世さん



「椿稲荷」
6年 宮澤 亜純奈さん

●西小学校（西地区）



「千本松牧場」
6年 阿久津 奈都美さん



「光尊寺」
6年 大類 朝太郎さん

●三島小学校（三島地区）



「三島神社」
5年 船山 琉亜さん

●三島小学校（三島地区）



「三島神社」
5年 正木 望鈴さん

●大山小学校（大山地区）



「大山公園慰霊塔」
6年 佐々木 寛斗さん

●横林小学校（横接地区）



「横林の温泉神社」
5年 関谷 遼真さん

②展覧会会場および入賞者表彰式の開催

本年度は10月に西那須野産業文化祭、11月になすしおばらまなび博覧会、1月中旬に那須野が原博物館エントランスホール、1月下旬に那須野が原公園緑の相談所展示ホールと4つの会場で展覧会を開催しました。

1月19日（土）に田園空間博物館総合案内所（那須野が原博物館）の研修室において、入賞者の児童と保護者を招き表彰式を開催し、田口会長から賞状と副賞を授与しました。



西那須野産業文化祭会場



なすしおばらまなび博覧会会場



那須野が原博物館会場



那須野が原公園 緑の相談所

「那須疏水」（世界かんがい施設遺産）以前の 那須野が原西部地区の湧水と小川あれこれ

シリーズ 2 狩野地区コミュニティ

○那須野が原中央部の湧水について

狩野地区は、那須野が原のほぼ中央部に位置し、地図で見ると湧水線が国道4号線より北西に突出している地帯です。前第32号に続き、今回は狩野地区コミュニティの湧水と小川について紹介します。

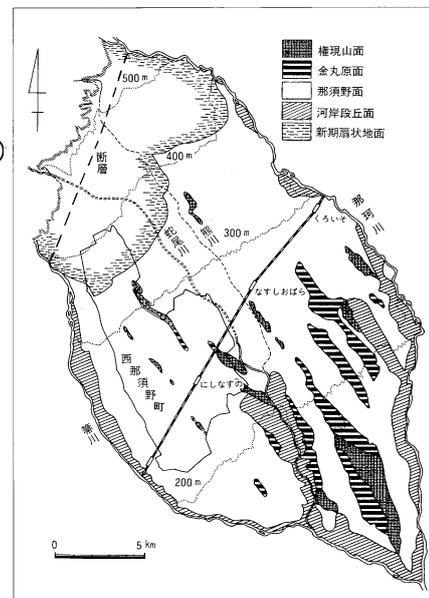
【本地区の特色】

那須野が原の地形を区分すると、右図のように権現山面（山頂に平坦面を残していない）・金丸原面（山頂部に平坦面を残している）・那須野面（那須野が原の大部分）・河岸段丘面（主として大きな河川の近くにある）・新期扇状地面（各河川の上流部分で、扇状地の形態が明らか）の5面がある。

狩野地区コミュニティは権現山丘陵の周辺であり、この丘陵の北西部が槻沢縄文遺跡である。5,000年以上も前の縄文中期からここに人が住んでいたということは、生活に必要な水が得られたという証拠でもある訳である。

権現山丘陵の東西各1 kmほどの鉄道と水路の交差する所を調べてみると、次のようになっている。西から南郷屋堀・那須疏水支流（西の川）・曇沼用水・高柳堀・津室川・槻沢堀・清水川などがある。その一部を紹介する。

第8図 那須野ヶ原（那須扇状地）の地形区分



阿久津純原図により作成

『西那須野町の自然』より

つむろがわゆうすいち 【津室川湧水地】

この出釜は槻沢北部にあり、暗渠は国道4号を越えて井口地域にまで延びている。ここから流れ出る津室川は、権現山を過ぎると蕪中川となる。水路は自然の小川と人工的に作られた水路とがY字状に交わって流出している。人工集水工事は、戦時中に大田原の中島飛行機製作工場用水とするための掘削・敷設したと案内板に記されている。

1月から5月ごろ、水が涸れることもある。春先、散策路から眺めるヤマブキの花の黄色は実に見事で、何度も訪れてみたくなる。



にしおそざわ でがまゆうすいち 【西遅沢の出釜湧水地】

那須野が原の湧水線の最北部にある湧水地で、6月から12月にかけて湧水量が多く、清水川となって下流の農地を潤している。出釜とその下流200mまでの川沿いからしみ出る湧水は毎秒0.05m³（1秒間に2ℓのペットボトル25本分 平成14年8月平均値）で、公園のように整備されたこの窪地の湧水を訪ねた人たちは、水の清らかさ・美しさ・力強さに感嘆することしきりである。

後藤 悟（南郷屋在住）



那須野が原西部田園空間博物館運営協議会

◇発行・問合せ先◇

TEL 0287-37-5108（事務局：那須塩原市西那須野支所産業観光建設課内）

◇HPアドレス◇

<http://www2.city.nasushiobara.lg.jp/denkku/>

サテライトの紹介、当協議会のイベントなどはホームページでもご覧になれます。

※当誌は那須塩原市の公民館で配布しておりますので、希望される方は各公民館までお問い合わせください。